

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の概要

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果について報告書を議会に提出するとともに公表する。

2 点検及び評価の対象

令和3年度常総市教育運営方針に掲げる事務事業

3 点検及び評価の方法

(1) 令和3年度常総市教育運営方針の重点事項に対する主な取組、成果等を取りまとめ、常総市教育審査委員の相互的な評価を受けた。

(2) 令和3年度常総市教育運営方針に基づく当該年度の事務の管理及び執行の状況を項目別に整理し、達成度を3段階で自主点検するとともに、これに対する今後の方向性を示した上で、常総市教育審査委員が、その有効性を3段階で評価し、意見等を付した。

○ご意見をいただいた学識経験者

(順不同、敬称略)

秋 田 武	元常総市立三妻小学校長
豊 田 幸 裕	元常総市立石下小学校長

総合評価

「未来に夢をもち 『生きる力』を育む 学校教育の充実」について

- コロナ禍において様々な行事の中止・簡略化が大きな流れとなっている。本来、学校教育は一つ一つの行事にも思いを込めて、子ども達の知徳体を育むことにあると考える。優先順位付けと重点化を図り「子ども達の成長に熱い思いを込める・伝える」ことがコロナ禍後に大切と思われる。各校の良き伝統が少しでもつながるような指導・助言をお願いしたい。
- 「主体的・対話的で深い学び」の基盤となる各学年毎に身に付けるべき基礎基本の定着が大切である。次の学年での学びの土台はしっかりと身に付けさせたい。授業のねらいを明確化して、「基礎基本を定着させることに重点をおいた授業」とその発展として「主体的・対話的で深い学びに重点をおいた授業」の展開のため、指導力の向上に努めていただきたい。
- 外国語教育の充実のために、担任とALTの役割を明確にし、適切に指導と評価ができるよう指導・助言をしていただきたい。
- 「常総ほっとサタデー教室」の効果的な活用の為に、学校行事（授業参観等）とのすり合わせや児童クラブとの連携を求めたい。また開室校5校以外の学校の児童が利用しやすくするための手立てについても配慮していただきたい。

「安全でいきいき学べる教育環境の創造」について

- 学校施設の老朽化対策については、定期的に点検を行いながら計画的に修繕等を行い、安全安心な環境整備に努められたい。
- 防災教育については、危機管理マニュアルを見直しながら実効性のある避難訓練等の実施に努め、防災意識の高揚を図られたい。

「市民の豊かなくらしを支える生涯学習の推進」について

- コロナ禍においても、利用者の制限や健康チェックシートの活用など工夫した取り組みに敬意を表したい。さらにインターネット環境や大型スクリーンなどを活用した取り組み、屋外でのイベントなど、何ができるかという発想を大切にしていきたい。
- 「郷土愛」を高めるために、学校行事や授業での施設活用、連携を進めていただきたい。また、「千姫の遺跡や史実」「飯沼干拓史」など郷土の発展にも目を向けられるよう地域交流センターの歴史的な資料の更なる活用を図られたい。
- 青少年の健全育成のために、関係機関との連携をさらに推進されたい。

「市民の健康を増進する生涯スポーツの振興」について

- 市民が生涯を通してスポーツに親しみライフステージに応じた健康づくりを進めるために安全安心な施設の管理・整備に努められたい。
- 指定管理者との連携により、市民が求める質の高い多様なスポーツ教室の開催などに尽力されたい。

「健康を増進する食育の充実」について

- 安全・安心な学校給食の提供のための衛生管理及び施設設備の安全点検を定期的を実施していただきたい。
- 食育については、栄養教諭による給食指導の実施や保護者等への情報提供に努め、さらなる食育の推進を図られたい。

「心豊かにする読書教育の充実」について

- 本に親しむ習慣の定着のため「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」を継続するとともに読書の質の向上のため、読書活動の活性化を図る取り組みを工夫されたい。
- 広く市民が図書館を利用できるよう図書館分館の設置や図書館巡回バスの運用等についても検討されたい。
- 市立図書館と地域交流センター図書室との連携についてもさらに工夫されたい。
- 市民が求める図書館とするため、図書館情報の積極的発信及びレファレンスサービスの充実に努められたい。

「安心して子育てできる就学前教育の充実」について

- 就学指導にもつながる情報共有や保護者の安心につながる教育相談の実施に努めていただきたい。
- 外国籍幼児（来日してすぐの子ども達）の適応指導にも配慮が必要だと感じる。一人一人が安心して幼稚園生活を送れるよう、外国人支援員の増員を望む。